

医療法人社団英ウイメンズ
クリニック理事長

塩谷 雅英



生殖医療のお話
その19

非配偶者間生殖補助医療とは？

ある7月28日に、「祖父の精子で118人誕生：体外受精」というニュース報道があった。長野県の産婦人科医師が、夫の無精子症のため出産をあきらめざるを得ない79組の夫婦に対して、夫の美父の精子を使って体外受精を行い、その結果118人の子どもが誕生したというのである(図)。ちなみに同医師は、1998年6月に日本で初めて妹からの卵子提供による非配偶者間体外受精の実施を公表している。このように夫婦以外の精子や卵子を用いて体外受精(顕微授精も含む)を実施することを非配偶者間生殖補助医療という。

非配偶者間人工授精とは？

夫の無精子症の治療として、匿名の第三者から精子の提供を受けて人工授精を行う治療である。わが国では60年以上前から行われており、この治療によってすでに1万人以上が出生している。

精子提供者は、匿名で医学部に在籍するボランティアの学生であることが多い。産まれてくる児には出自は秘匿されるケースがほとんどで、親の病气や離婚

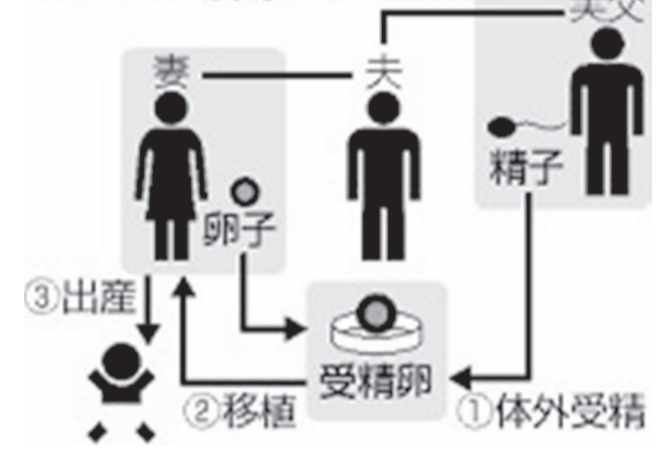
遅れている法整備

夫の同意を得ずに実施された非配偶者間人工授精により出生した子について、夫の嫡出否認を認める判決が出されるなどの問題が生じたり、あるいは精子の売買や代理懐胎の斡旋など商業主義的行為が見られたことを受けて2003年、厚生科学審議会は非配偶者間生殖補助医療に関する報告書を出した(表)。

制度整備を
待ちきれない患者たち

法整備を含めた制度整備を待っている間も非配偶者間生殖補助医療を必要とし、望む患者たちは年を重ねている。03年当時30歳であった患者はす

今回の治療の仕組み



引用元：読売新聞医療サイト

〔表〕精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療制度の整備に当たっての基本的考え方

厚生科学審議会生殖補助医療部会
2003年4月28日

- ・生まれてくる子の福祉を優先する
- ・人を専ら生殖の手段として扱ってはならない
- ・安全性に十分配慮する
- ・優生思想を排除する
- ・商業主義を排除する
- ・人間の尊厳を守る

血のつながった子が欲しいと希望することから、冒頭に述べたように、美父の精子や姉妹からの卵子提供による治療を望むことになる。

日本生殖補助医療標準化機関
における非配偶者間生殖補助
医療実施までの経緯

前述のごとく03年、厚生科学審議会が第三者の配偶子を用いる生殖医療を条件付きで容認するとの報告があったものの、制度整備を待つ間に年を重ねる機会が失われていく状況が続いていた。また、厚生科学審議会の報告書通り匿名かつ無償での卵子、精子提供者を見つけてもらうことは非常に困難な状況であった。そのような中、06年、日本生殖補助医療標準化機関(以下「標準化機関」と呼ぶ)が設立された。この機関は、卵子提供者の募集、および姉妹からの卵子提供のケースの実施要請があった。日本生殖補助医療標準化機関では9回に及ぶ審議を重ね、07年に2ケースの実施を独自に承認し、08年には治療の実施容認に踏み切った。治療の結果、幸いこの2

非配偶者間生殖
補助医療を望む
患者の受け皿

また、報告書では精子や卵子の提供者を匿名の第三者としているが、実際、精子や卵子を提供してくれるボランティアを探し出すことは容易ではない。しかも患者の間には、少しでも自身の遺伝子を持った子、すなわち

その一つは、冒頭でご紹介した長野の産婦人科施設であり、もう一つは、日本生殖補助医療標準化機関である。日本生殖補助医療標準化機関は、独自のルールを作成し、産まれてくる子の福祉に十分に配慮しつつ厳密に審査を行った上で、条件を満たす患者に非配偶者間生殖補助医療を提供している。

終わりに

国内での治療の門戸が開かれた状況下、卵子、精子提供者を希望する多くの夫婦は海外渡航をせざるを得ない状況が続いている。これら患者の中には十分なカウンセリングを受けることなく、また生まれてくる子の福祉に対する十分な配慮がなされていないケースもあることが懸念される。また、患者の高齢化に伴い、貴重な治療のタイミングを逸しているケースもある。制度整備の早急な実現が望まれる。

化粧品の「基本」と「業界」を理解できる！

簡単に

基礎から応用までよくわかる！

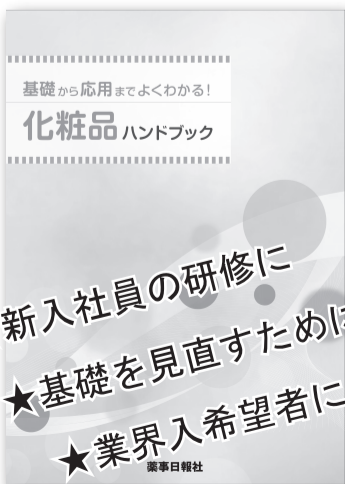
化粧品ハンドブック

化粧品の原料選定から販売までに関する基礎知識をわかりやすくまとめた、関係者すべてに役立つ1冊

編集代表 高橋 守 (コスメティックテクニカルアドバイザー) A5判・約250頁 定価 3,000円+税

目次

- 第1章 化粧品業界の概要
- 第2章 化粧品の法規制
- 第3章 化粧品の表示と広告
- 第4章 化粧品と皮膚と効果効果
- 第5章 化粧品原料と新規原料を用いた製剤化
- 第6章 日本の化粧品危害事例と禁止成分



- ★新入社員の研修に
- ★基礎を見直すために
- ★業界入希望者に

薬事日報社

書籍のご注文は、オンラインショップ (<http://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。